

たじひさるかけじょうあと

多治比猿掛城跡

元就が青年期を過ごした城跡

多治比猿掛城は、明治9（1500）年、当時4歳の元就が父・弘元の隠居に伴い郡山城から移り住んだ城です。その後、元就が27歳で本家を相続して郡山城にもどるまでの23年間をこの城で過ごしました。

美土里方面と土師方面からの道の合流点を見下ろす山上にあり、本丸からは郡山城も望め、毛利氏にとっては郡山城の西の備えでした。特に北側は強大な勢力を誇った高橋氏の勢力圏であったため、ここが単なる隠居所ではなく、境目の重要拠点であったと考えられます。

城の痕跡はよく残っており、特に本丸の南側にある巨大な堀切は必見。登山道が整備されていますが、急坂もあり注意が必要です。

山麓には、毛利弘元夫妻の墓や元就を育てた杉大方の墓があります。

[毛利元就についてはこちら ↗](#)

タグから近いスポットを探す

[駐車場有り](#) [吉田町](#) [史跡](#) [毛利元就](#) [自然散策](#) [城跡](#)



イメージギャラリー



順路①



順路②右奥の道を進みます。（普通車でも通行可）



順路③駐車場



駐車場直ぐ側に、毛利弘元夫妻墓所への道があります



毛利弘元墓所



順路④駐車場の奥へ進むと城跡の登山道や出丸があります



多治比猿掛城跡登山道入口



出丸への道

